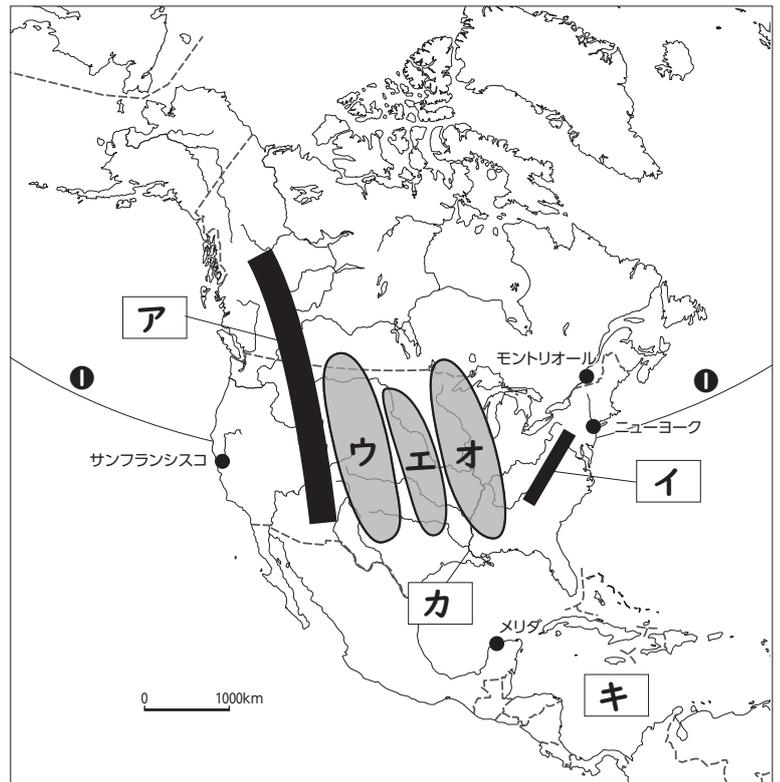


Ⅰ. 北アメリカ大陸とカリブ海の島々

図Ⅰ

(1) 図Ⅰのア～キの名称を記入してみよう。

ア	ロッキー	山脈
イ	アパラチア	山脈
ウ	グレートプレーンズ	
エ	プレーリー	
オ	中央平原	
カ	ミシシッピ	川
キ	カリブ	海



(2) 北アメリカ大陸の地形の特色を、カナダ・アメリカ合衆国とメキシコに分けてまとめてみよう。

カナダ・アメリカ合衆国	メキシコ
(例) 西部に標高の高く険しいロッキー山脈が連なり、東部にはなだらかな山脈や高地があるが、中央部は標高の低い平原が広がっている。	(例) 国土の大部分が高原と山地になっている。

(3) ニューヨーク付近を通る、図Ⅰの①の緯度の値を調べてみよう。また、その緯度は、日本では何県を通過しているか調べてみよう。

緯 度	北 緯 40 度	日本の県	秋田県と岩手県
-----	----------	------	---------

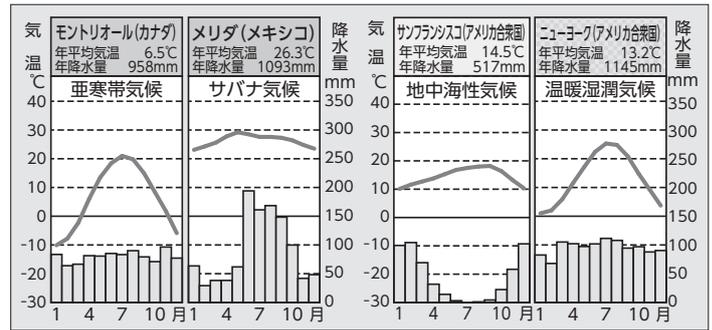
(4) アメリカ合衆国の中央部に広がるグレートプレーンズとプレーリーの平原について、それぞれの違いや特徴を挙げてみよう。

グレートプレーンズ	プレーリー
(例) ロッキー山脈の東に広がる高原状の大平原で、東に向かってなだらかに低くなっている。	(例) ミシシッピ川の西に広がる草原で、植生では丈の長い草が生えている。

2. 北アメリカ州の気候

- (1) 資料Ⅱのモントリオールとメリダ、ニューヨークとサンフランシスコの雨温図について、それぞれの都市の位置も参考にしながら特色をまとめてみよう。

資料Ⅱ

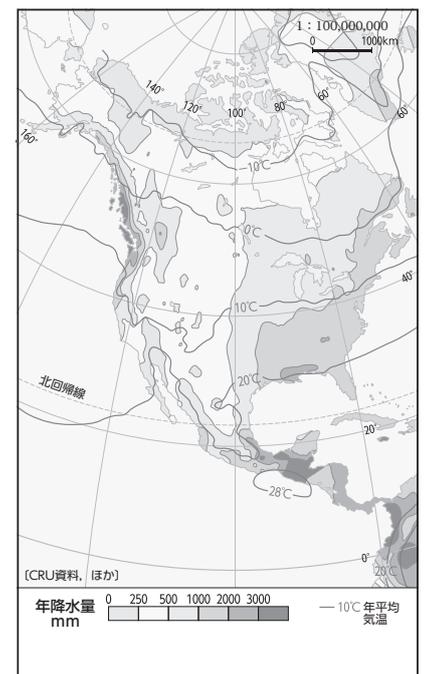


モントリオールとメリダ	(例) 高緯度のモントリオールは気温が低く、特に冬の寒さが厳しい。一方、低緯度のメリダは1年中気温が高く、雨季と乾季の降水量の差が大きい。
ニューヨークとサンフランシスコ	(例) 大陸東岸のニューヨークは1年中温暖で、季節による降水量の差が小さい。大陸西岸のサンフランシスコは、気温はニューヨークと似ているが、地中海性気候で夏の降水量が少ない。

- (2) 資料Ⅲを参考に、アメリカ合衆国の降水量の特徴を、「年降水量500mm」を基準にして説明してみよう。

(例) 西経100度の東側は年降水量が500mm以上で、西側は年降水量が500mm以下になっている。

資料Ⅲ 北アメリカの気温と降水量



- (3) アメリカ合衆国で見られる「ハリケーン」とはどのようなものか、発生する時期と地域、発生の原因を説明してみよう。

地域と時期	(例) 8月から10月にかけて、メキシコ湾からカリブ海にかけての地域に発生する。
原因	(例) カリブ海やメキシコ湾で空気が温められて発生する。

本時のまとめ

◆ アメリカ合衆国の気候の特色を、「西経100度」の語句を使って説明しよう。

(例) アメリカ合衆国では、西経100度を境界として西側は降水量が少なく砂漠も見られるが、東側は温暖で湿潤な気候の地域が広がっている。